

# 西光寺だより

第二四二号 令和四年 五月一日発行

さわやかな風が吹きわたり、新緑まぶしい季節となりました。

一日一日と新芽がふくらみ、そしてそれが小さな若葉にほぐれたかと思うと、たちまちピカピカと光り輝くような青葉になってゆらいている。そんな姿に目を奪われることであります。

一時も休むことなく変化し、成長している。大地の底からほとぼしるような力を感じながら、薫風と陽光に息づく大自然のいのちを感じ。そんな自然の営みを感じることでもあります。

春に芽生えた植物たちがすくすくと育っていくそのさまは、いのちのエネルギーに溢れているようです。

エネルギーは行動する源となる力。心の奥深くから溢れ出すこともあれば、使いすぎて消耗してしまうこともあります。

疲れた時は、毎日頑張っている自分自身をねぎらってあげてください。自分を大切にする時間はきつと新たなエネルギーを生み出してくれるはずです。

風薫る5月。南方からやってくるこの風は、若葉の薫りをまといます。この薫りには正体があつて、樹木が自らを守るために発するフィトンチッドという物質によるもので、リフレッシュ効果もあるのだそうです。

若々しい葉を撫でてきた風に身をゆだね、リフレッシュすることができたなら、今度はさわやかな笑顔の風を吹かせたいと思うことでもあります。

合掌



## ◆先月の報告◆

① 4月2日（土）西光寺本堂にて春季永代経法要を厳修致しました。

ご法話なしで正信偈のお勤めのみでしたが、ご先祖さまを偲びながら、これからも皆さまの西光寺が続いていくようにと、お勤めいたしました。そんな法要の中、親鸞聖人が門弟に宛てたお手紙のお言葉を味わうことであります。

『この身は、いまは、ときはまりて候へば、さだめてさきだちて往生し候はんずれば、浄土にてかならずかならずまぢまゐらせ候ふべし。』 『親鸞聖人御消息』第二十六通

阿弥陀さまのお救いの中、再び会うことのできる世界がある。

亡くなられた懐かしい方々が必ず待っていて下さる世界がある。私たちはそのお浄土に向けて、今、安心の旅をしています。

そんな尊いお時間を過ごしたことであります。





②4月15日（金）西光寺本堂にて山田家初参式を行いました。  
 コロナ禍ではありますが、新たな命の誕生を阿弥陀さまにご報告させていただきました。  
 いのちのつながりに感謝申し上げ、十二礼のお勤め・お焼香を致しました。  
 ようこそ、お参りくださいました。

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺  
 大阪府茨木市西河原一―七―二  
 電話 〇七二―六二二―四七九四  
 FAX 〇七二―六二二―九二九一  
<http://www.osaka-saikouji.net/>

令和4年度西光寺行事予定

4月 2日（土）	春季永代経法要	14時
8月15日（月）	盂蘭盆会法要	18時
9月（未定）	大谷本廟墓参《みのり講・穂積講》	
10月（未定）	秋季永代経法要	14時・19時
11月23日（水・祝）	報恩講法要	14時・19時
12月31日（土）	除夜会	
令和5年		
1月 1日（日）	元旦会法要	
4月 2日（日）	<u>親鸞聖人御誕生 850年・立教開宗 800年慶讃法要</u> <u>茨木東組団体参拝</u>	14時（京都西本願寺）

令和4年度茨木東組行事予定

- 6月（未定） 聖跡巡拝旅行バスツアー **【実施予定】**
- 12月5日～6日 第32回茨木東組念仏奉仕団 **【実施予定】**  
（京都西本願寺）